

H. C. R. 2025 会期速報 ～10月10日（金）“晴れ”～

H. C. R. 2025 開催3日間12万人超の来場

- 最終日38,745人、福祉・介護事業者、企業、研究者、ユーザー、学生、一般と幅広い参加
- Web展示は11月7日まで、製品情報、セミナー動画の視聴などが視聴可能、最新の福祉機器トレンドを発信中、ぜひアクセスを！

3日間の総来場者数（速報値）をお知らせします。

=====

10月8日(水)～10日(金) 121,137名

=====

※ 来場者の業種内訳については、会期終了後、速やかにご報告いたします。

[3日間の累計]

	天気	来場者数	累計来場者数
10月8日(水)	晴れ	40,805人	121,137人
10月9日(木)	曇り	41,587人	
10月10日(金)	晴れ	38,745人	

1. H. C. R. 2025 に出展した企業関係者からは、次のような評価の声も！

- 「福祉機器の量から質への転換が鮮明となっていることを感じた」
- 「H. C. R. は“体験重視”の展示会。製品の使用感をリアルに体験できる展示を重視してが、カタログでは伝わらない“使い心地”など感覚的理解が来場者に好評であった」

さらに、市場形成の経過の中での受けとめとしては、

- 介護の分野において「多岐にわたる介護用品からの選択の流れを感じられた」
- 「介護現場の課題が、身体的負担と人手不足・情報管理への移行のためのAI記録やクラウド型記録システムなどが注目されていた
- 在宅介護支援機器においては、自立支援と介護者の負担軽減を両立する製品が増え、ケアマネジャーや介護をする家族の方々からの関心が高く、展示ブースでの体験が好評であった

2. 来年のH. C. R. 2026に向けての方向性をお聞きしたところ次のように

- 市場の成熟に伴う福祉機器の開発において「質の競争」への移行を進めていかななくてはならないこと
- 体験型展示による自社のブランド価値の向上を図っていくこと
- ICT・AIなど新技術で業務支援分野での新規顧客獲得すること
- Web展との連携による情報発信をさらに強化していくこと

3. 特別企画、未来のおむつをテーマにした初の総合展示「O-MU-TSU MUSEUM」

“おむつはもっと自由でいい”とのコンセプトに共感する声が多く、デザイン性やQOL向上を期待したいと、介護職や一般来場者から多くの関心をと集めていた。来場者の声から次のようなコメントが聞かれた

- 「本当におむつ？」と思うほどのデザインに驚いた
- ファッション性を重視した展示に、「履きたくなるおむつ」という新しさを感じた
- 「おむつは恥ずかしい」との心理的な思いから「生活を豊かに」との意識が大事
- おむつ使用に対する抵抗感が根強いが、「安心して外出できる」などQOL向上の視点から肯定的な意見があった
- おむつゴミの増加など環境問題、コスト、要介護者の経済的負担、自立支援とのバランスなどと現実的な課題の解決も必要である

4. Web 展示の特徴とアクセス方法

Web 展示では、製品情報の閲覧だけでなく、出展社プレゼンテーションやセミナー動画の視聴も可能で、現地に行けない方でも最新の福祉機器トレンドを把握できます。

【開催期間】 2025年11月7日（金）まで閲覧可能。

【アクセス方法】 H.C.R. 公式Web サイト内の特設ページへ <https://www.hcr-web.jp/>



－ 次回開催のお知らせ －

H.C.R. 2026 第53回国際福祉機器展&フォーラム

2026年10月7日（水）～9日（金）

東京ビッグサイト東ホール1.2.3.7.8

引き続き皆様のご参加とご出展をどうぞよろしくお願いいたします！



H.C.R. 事務局（一般財団法人 保健福祉広報協会）